様式第２号別紙１

事業者温室効果ガス削減報告書概要（第二計画期間）　　第 2 年度分

１　事業所の概要

事業者の名称	株式会社　仙台三越	
事業所の名称	株式会社　仙台三越	
事業所の所在地	宮城県仙台市青葉区一番町四丁目8-15	
主たる事業	各種商品小売業	
事業者の該当要件	○	条例第2条第5号イに該当する特定事業者
		条例第2条第5号ロに該当する特定事業者
		条例第2条第5号ハに該当する特定事業者
		条例第15条第1項に該当する一般事業者
温室効果ガス排出抑制のための基本方針	・当社グループ全体目標として、CO2排出総量（SCOPE1・2）、2013年度を基準年度として2030年度に-42%削減 ・株式会社仙台三越として、エネルギー使用量前年比-1%削減	

２　温室効果ガスの排出状況等

温室効果ガスの排出状況及び削減目標・非化石エネルギーの使用割合目標	基準年度	2022　年度	基準排出量	6,141 t-CO_2	基準原単位	0.2909
	目標年度	2025　年度	目標排出量	5,956 t-CO_2	目標原単位	0.2821
			削減率	3.01 %	削減率	3.02 %
		非化石エネルギーの使用目標割合	非化石電気	33.00 %	その他非化石エネルギー等	33.00 %
温室効果ガスの排出状況	第１年度	2023　年度	排出量	6,106 t-CO_2	排出原単位	0.2885
			削減率	0.56 %	削減率	0.82 %
		非化石エネルギーの使用割合	非化石電気	28.66 %	その他非化石エネルギー等	0.00 %
	排出量等の増減理由	前年（2022年）と比較し夏季の外気温度上昇によりエネルギー使用量増ですが、係数の差により 温室効果ガス排出量減となりました。				
	第２年度	2024　年度	排出量	5,282 t-CO_2	排出原単位	0.2502
			削減率	13.98 %	削減率	13.99 %
		非化石エネルギーの使用割合	非化石電気	28.66 %	その他非化石エネルギー等	0.00 %
	排出量等の増減理由	前年（2023年）と比較しエネルギー使用量前年並ですが、係数の差により 温室効果ガス排出量減となりました。				
	第３年度	2025　年度	排出量	t-CO_2	排出原単位	
			削減率	%	削減率	%
		非化石エネルギーの使用割合	非化石電気	%	その他非化石エネルギー等	%
	排出量等の増減理由					

（事業所等用）

３　温室効果ガスの排出抑制に関する取組

基本対策の実施状況	基準年度	93 %	目標年度	93 %	
	第１年度	96 %	実施状況の説明等	5の3　5の項目　「発泡スチロールを減容機により処理、リサイクル性の向上をしつつ輸送コストの低減によるCo2排出量の低減に寄与する」につきましては減容器使用を停止し、リサイクル業者による搬出へと変更となりました。	
	第２年度	96 %	実施状況の説明等	第一年度より実施しておりますリサイクル業者を継続しております。	
	第３年度	%	実施状況の説明等		

	項目	実施状況
選択対策の実施状況	エネルギー使用量の見える化（前年度比較）	実施済
	エネルギー使用量の見える化（分計による課題発見）	実施済
	外気冷房	実施済
	熱源設備 冷却水温度の適正管理	実施済
	熱源設備 冷却水の水質管理	実施済
	冷温水ポンプの回転数制御、自動流量制御	実施済
	ボイラーの給水及びブローの管理	実施済
	ポンプ、給水系統の保全管理	実施済
	ファン、ブロワ、給気系統の保全管理	実施済
	デマンド管理	実施済

様式第２号別紙１

	項目	具体的な取組内容	実施状況
その他の対策の実施状況	その他地球温暖化を防止する対策の実施	令和2年7月のレジ袋有料化に合わせ館内にマイバックコーナーを設置しマイバック普及を推進し、Co2削減に寄与する。	実施済
	その他地球温暖化を防止する対策の実施	贈答品包装時、エコ包装を推奨しCo2削減に寄与する。	実施済
	その他地球温暖化を防止する対策の実施	SDG s （Sustainable Development Goals）グループとして重点を置いて取り組んでいる。	実施済
	その他地球温暖化を防止する対策の実施	社用車を用いた遠方へ移動する際には、ハイブリットカーの使用を推奨する。→2020年度追記：社用車を廃止。	実施済
	廃棄物削減対策の実施	発泡スチロールを減容機により処理、リサイクル性の向上をしつつ輸送コストの低減によるCo2排出量の低減に寄与する。	未実施
	廃棄物削減対策の実施	使用済みのダンボールを回収しリサイクル業者へ搬出し、再利用によるCo2削減を目指す。	実施済
	その他地球温暖化を防止する対策の実施	館内従業員用昇降機のルール化。使用ルールを明文化する事によるエレベーターの乱使用を抑制し電力の削減を目標とする。	実施済
	その他地球温暖化を防止する対策の実施	プラスチック製品の削減 自社サロンで配布するプラスチック製使い捨てカトラリーの紙製・木製へ切り替え	実施済
	廃棄物削減対策の実施	食品リサイクル 「定禅寺通等食品リサイクル推進モデル事業」への参画	実施済

（事業所等用）